

EXPO 2025

Co-Creation Design System

Ver.1.0

2026.4

INTRODUCTION

「EXPO 2025 Design System」は万博のさまざまなインターフェースを統一し、アナログ・デジタルの境界線を超えて一貫した体験の提供を目的として作成しました。EXPO 2025 Design Systemの提供する体験を通じ、大阪・関西万博がより多くの人々に愛され続けることを願っています。このEXPO 2025 Design Systemを多くの方にご使用いただくため、「共創デザインシステム」を作成いたしました。当協会では、この共創デザインシステムを、大阪・関西万博の理念継承、発展のために広く活用していただくことを望んでいます。本ガイドラインの内容をご理解いただき、共創デザインシステムを適切にご活用ください。

本ガイドラインは、
2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）の
共創デザインシステムの使用法についてガイダンスとともに規定したものであり、
ブランドを誤用される可能性から保護するために定めたものです。
本文書の内容は適宜更新されますので、つねに最新版であることを確認してください。

INDEX

2	INTRODUCTION	
3	DESIGN POLICY	
4	共創デザインシステムのレギュレーション	1-1,2,3,4,5
13	共創デザインシステム 使用例	1-6
14	共創デザインシステムの使用に際して	1-7,8,9
17	問合せ先	

デザインシステム | デザインポリシー

DESIGN POLICY

1 いのちを表現する「生きた」デザインシステム

万博のデザインシステムは、生き物のように成長し、進化する構造を持っています。万博テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現するためには、スタティック（静的）ではなく、ダイナミック（動的）な要素のある「生きた」デザインシステムが必要だという思いから、この構造を採択しました。

2 アナログとデジタル、現実と仮想の境界を横断する、一貫したブランド体験

ホリスティックな視点で、一貫性をもったブランド体験を設計します。本万博は、現実の空間と同時に、バーチャル空間にも会場を持ちます。平面や映像、グッズのようなリアルな要素はもちろん、AR（Augmented Reality=拡張現実）、VR（Virtual Reality=仮想現実）といったバーチャル空間においても、同じ万博というブランドを体験できるよう配慮されています。

3 未来のデザインのあり方を問いかける、実験性と革新性

ルールとしてのデザインから、問いかけるためのデザインへ。本万博のテーマは、「未来社会の実験場」。デザインシステムもまた、未来のデザインのあり方を問いかけるような実験性と革新性をもっています。アルゴリズムを用いるなど、テクノロジーを活用し、人と機械が共創するデザインプロセスを採択しました。このデザインシステムは今後、ソフトウェアのようにアップデートされていきます。

4 大阪・関西万博らしさをもったエネルギーとユニークネス

1970年大阪万博のシンボルである『太陽の塔』は、過去・現在・未来を貫いて生成する万物のエネルギーを象徴しています。こうしたダイナミックなエネルギーと、大阪や関西が持つ遊び心を忍ばせたデザインシステムを目指すことで、新たな「大阪・関西万博らしさ」を構築します。

5 参加と共創をうながすプラットフォームとしての「開かれたデザイン」

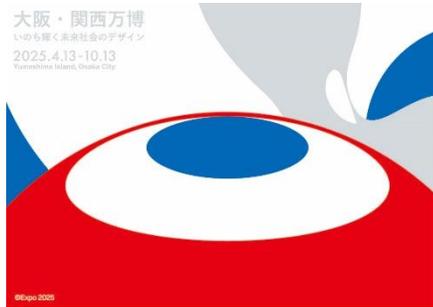
「個のいのち」をシンボライズするIDと、「多様ないのち」が共創する未来をシンボライズしたGROUPというデザインエレメント。このIDとGROUPは、開かれた仕組みとなる可能性をもったシステムとして設計されています。デザインの中に「余白」を残すことで、拡張性を担保し、多くの人々へ参加と共創をうながしていきます。

1-1

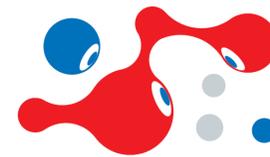
共創デザインシステムのレギュレーション

本ガイドラインに従って使用できる
共創デザインシステムは、以下の通りです。

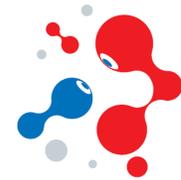
クリッピンググラフィック



GROUP



大阪・関西万博
いのち輝く未来社会のデザイン
©Expo 2025



大阪・関西万博
いのち輝く未来社会のデザイン
©Expo 2025

クリッピングフレーム



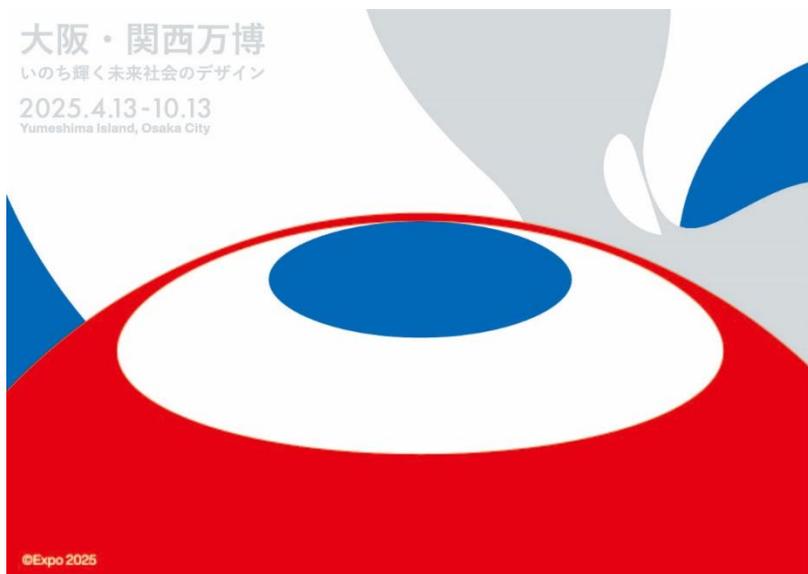
1-2

共創デザインシステム（クリッピンググラフィック）のレギュレーション

グッズ、ポスター、バナーなどのヴィジュアルイメージとして使用することを想定したグラフィックです。

クリッピンググラフィックが主役となるような使い方を想定しています。

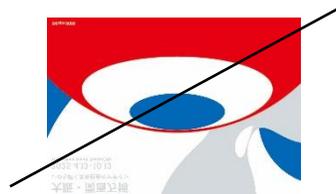
提示素材をそのままご使用ください、



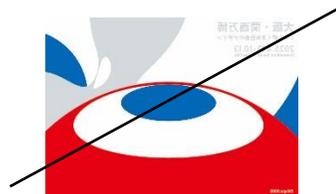
1-2

共創デザインシステム（クリッピンググラフィック）のレギュレーション — NG例

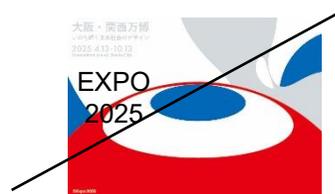
クリッピンググラフィックを使用する上で、誤りやすい例を示しています。一貫したブランドコミュニケーションを展開するためにも、下記のような誤用は避けてください。提示素材を加工、改変せずそのままご使用ください。



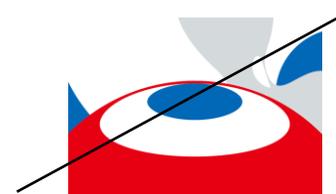
回転する



反転する



文字や図等を素材に
挿入する



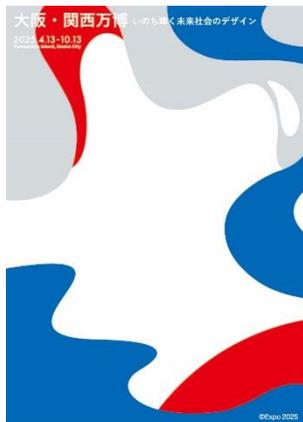
メッセージやコピーライト等を削除する

1-3

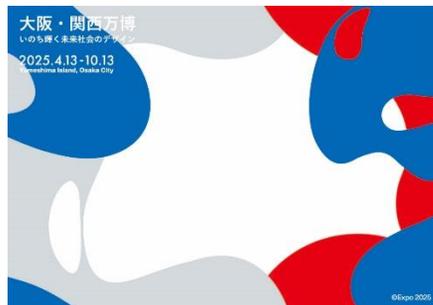
共創デザインシステム（クリッピングフレーム）のレギュレーション

中央の白い領域の中にテキストなどの要素を入れて、フレームのように使用することを想定したクリッピングです。

使用方法は、次ページをご参照ください。



F01



F02



F03

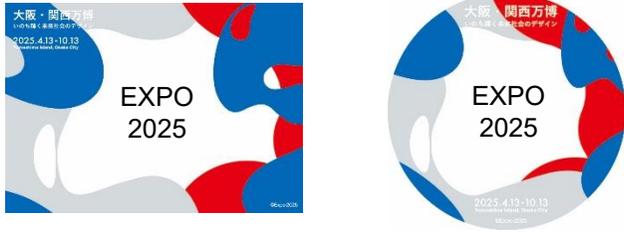


F04

1-3

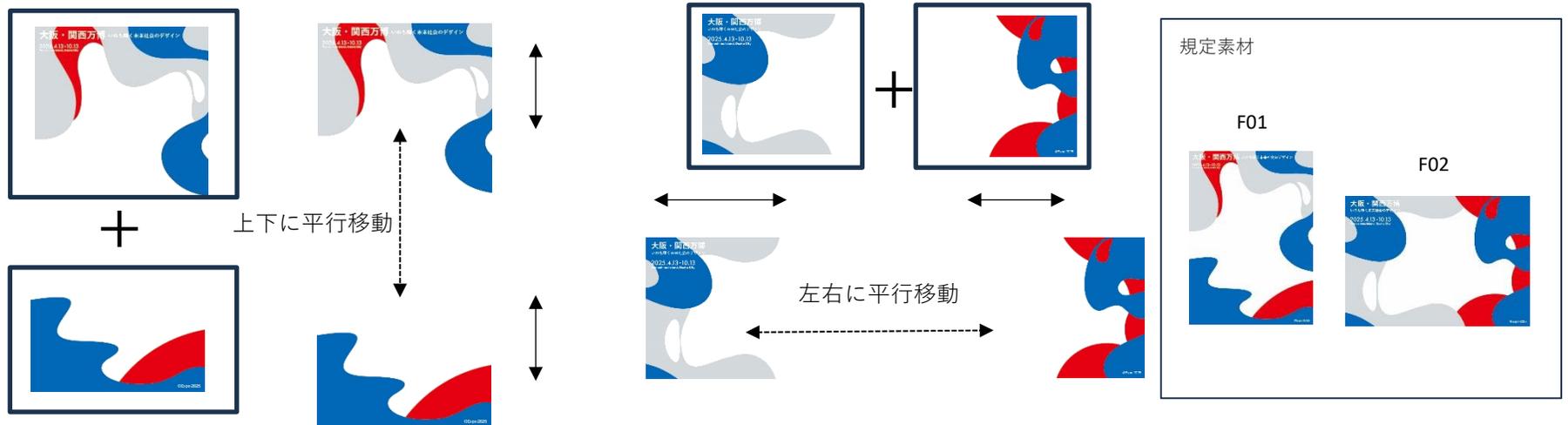
共創デザインシステム（クリッピングフレーム）のレギュレーション — 使用方法

クリッピングフレームは中央の白い領域の中にテキストなどの要素を入れて、フレームのように使用することを想定したクリッピングです。
 白い領域からはみださないようにテキスト等を入れてください



クリッピングフレームF-01 F-02は、2つの素材を組み合わせて構成されています。

2つの素材を 左右 もしくは上下に平行移動させることで、間の白い領域を拡大させて自由なサイズを制作できます。



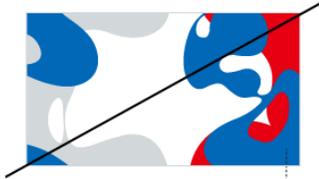
注意事項

- ・規定素材を元にして左右もしくは上下にスライドして白い領域を拡大することが出来ませんが、規定素材よりも白い領域を狭めることはできません。
- ・各素材を回転させることはできません。
- ・クリッピングフレームF-01 F-02は、2つの素材を必ずセットで使用してください。
- ・異なるクリッピングフレームを組み合わせて使用することはできません。

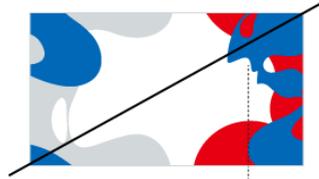
1-3

共創デザインシステム（クリッピングフレーム）のレギュレーション — NG例

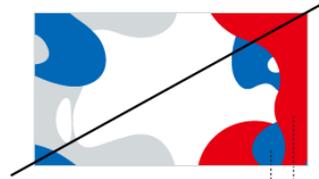
クリッピングフレームを使用する上で、誤りやすい例を示しています。一貫したブランドコミュニケーションを展開するためにも、下記のような誤用は避けてください。
クリッピング一覧で提示した素材を使用し、色やデザインの部分に重ならないよう白い領域にテキスト等をレイアウトしてください。



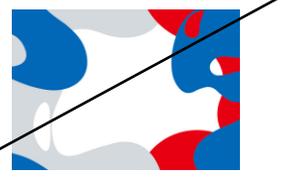
フォーマットで見えない部分を見せる、
またはフォーマットで見える部分を隠す



アンカーポイントを編集する



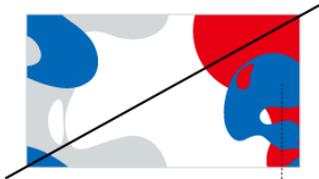
レイヤーの重なり順を変える



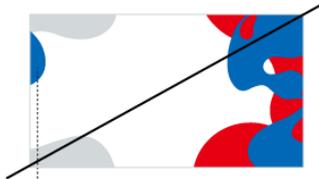
メッセージやコピーライト等を
削除する



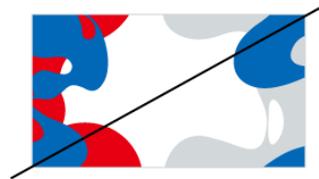
白場をはみ出して文字や図等を
挿入する



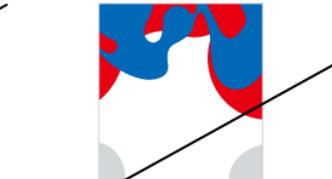
規定以外の方向へ
オブジェクトを移動する
(例:F01の調整時に下へ移動する)



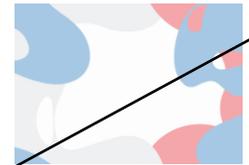
規定以外のオブジェクトを編集する
(例:F01の調整時に「左」レイヤーを移動する)



反転する



回転する



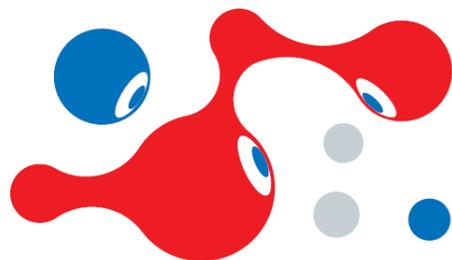
色見や透明度を変更する

1-4

共創デザインシステム (GROUP) のレギュレーション

このGROUPは大阪・関西万博の重要な要素である「未来社会の共創」をシンボライズしており、共同体が「未来社会をデザインする」ための各プロセスが表現されています。異なる個性が出会い (Join)、心を開き話し合い (Sync)、未来へと共に動きはじめる (Act)。個と個がオープンにつながることでアイデアが生まれ、より良い未来をつくるための変化を起こしていきます。

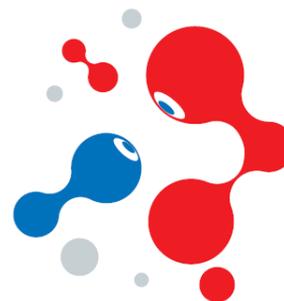
「共創」を表現したい、意識させたいシーンに、ポイントで使用してください。



大阪・関西万博

いのち輝く未来社会のデザイン

©Expo 2025



大阪・関西万博

いのち輝く未来社会のデザイン

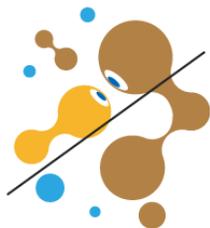
©Expo 2025

1-4

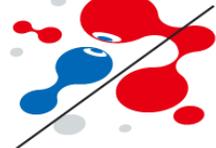
共創デザインシステム（クリッピングフレーム）のレギュレーション — NG例

GROUPを使用する上で、誤りやすい例を示しています。一貫したブランドコミュニケーションを展開するためにも、下記のような誤用は避けてください。

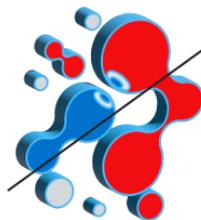
提示した素材を加工、改変せずそのまま使用してください。



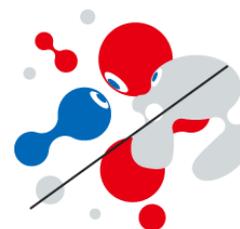
色を変更する



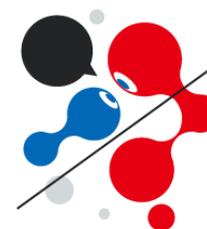
変形（長体・平体・斜体・回転）する



装飾（縁取り・立体表示）する



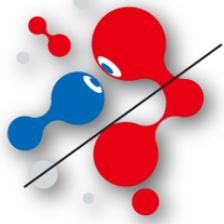
他の図と組み合わせる



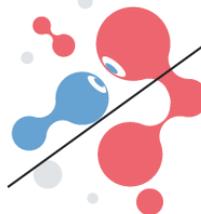
キャラクターとして使用する



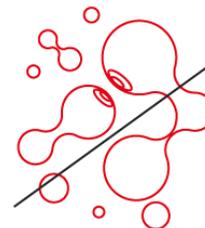
形を変更する



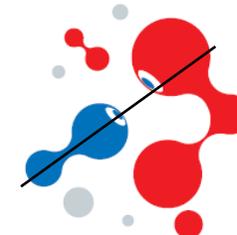
ドロップシャドウを加える



透過する



アウトラインで表示する



メッセージやコピーライトを削除する

1-5

共創デザインシステム カラー一覧

デザインエレメントのグラフィックには、下記に示すカラーを使用しています。

一貫したブランドコミュニケーションの展開のために、各色の指定を守ってください。



Red

PANTONE 186C/M/U

C0 M100 Y100 K0

R230 G0 B18 #E60012



Blue

PANTONE 2935C/M/U

C100 M50 Y0 K0

R0 G104 B183 #0068B7



Light Gray

PANTONE 537C/M/U

C5 M0 Y0 K20

R210 G215 B218

#D2D7DA



White

PANTONE -

C0 M0 Y0 K0 R255 G255

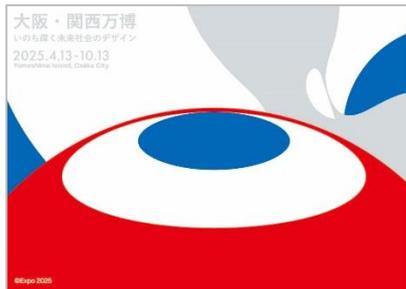
B255 #FFFFFF

1-6

共創デザインシステム 使用例

前述の使用方法に則って、デザインを使用してください。データの加工、改変は禁止です。

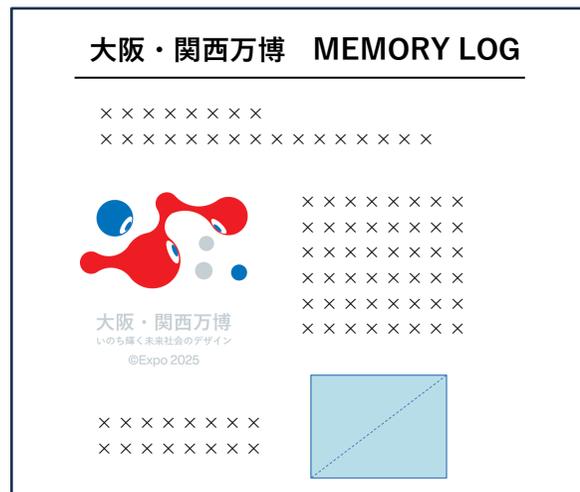
レイアウトイメージ例（ポスター等）



レイアウトイメージ例（名刺）



レイアウトイメージ例（SNS投稿等）



アイコン等



1-7

共創デザインシステムの使用に際して

■ 共創デザインシステムの使用範囲

大阪・関西万博の理念継承、発展を図ることを目的とした

- ・ 個人での使用
- ・ 企業・団体等による企業・団体内部での使用
- ・ 企業・団体等の外部に向けて使用する物で、**大阪・関西万博の理念継承、発展を図ることを目的とした掲示物、発行物等**

*** 商品やサービスに関連付けた使用は除く**

■ 使用できるEXPO 2025 デザインシステム

- ・ 本ガイドライン2～13ページに記載されている共創デザインシステムに限ります。

■ 共創デザインシステムを使用できる方

- ・ 個人・企業・国・地方自治体・公益法人・その他非営利団体等、公序良俗に反せずかつ反社会的勢力との関係がない方
- ・ ただし、以下の場合には使用を認めません。
 1. 法令及び公序良俗に反するものと認められる場合
 2. 万博の信用又は品位を害するものと認められる場合
 3. 第三者の利益を害するものと認められる場合
 4. 特定の個人、団体、法人又は商品等を支援若しくは推薦し、又はこれらを行うおそれがあると認められる場合
 5. 特定の政治的、宗教的又は思想的主張を表現したものに関する利用と認められる場合
 6. 共創デザインシステムの利用によって誤認または混同を生じさせるおそれがあると認められる場合

■ 共創デザインシステムの申請手続き

- ・ 専用サイトの本ガイドライン・プライバシーポリシーをよく読み同意の上、申請フォームより申請してください。
- ・ 申請後、使用方法等に問題がなければ確認完了後に2025MLOよりダウンロードURLおよびパスワードをお送りいたします。
- ・ 必要に応じて当協会または2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィス（2025MLO）からサンプルのご提出や修正をお願いする場合があります。

■ デザイン上の留意点

- ・ 本ガイドライン2～13ページに記載されている態様以外での使用はできません。
- ・ ダウンロードした共創デザインシステムのデータを加工・改変することはできません。
- ・ メッセージ部分（「大阪・関西万博」の文字他）を除いてデザインシステムだけを使用することはできません。
- ・ 大阪・関西万博への協賛や寄付など関わりを想起させる表現を併記して使用することはできません。
例）NG：「大阪・関西万博を応援しています」、「大阪・関西万博のサポーターです」など。

1-8

共創デザインシステムの使用に際して

■ 使用が認められる具体例

- ・ 個人による個人的なブログやSNS投稿、名刺での使用
- ・ 企業・団体等の使用する物で下記例示のもの。
例) 名刺、封筒、紙袋、プレスリリース、メール署名、社内報、
大阪・関西万博の理念継承、発展を図ることを目的とした掲示物、発行物
(会報誌(会員誌)、ホームページ、SNS、協会HPへのリンクバナー等)
*** 商品やサービスに関連付けた場合は、以下の使用禁止例に該当します**

■ 使用が禁止される具体例

- ・ 商品やサービスに関連付けた使用
例) 当該企業・団体の紹介冊子、当該企業・団体の商品及びそのパッケージ、企業広告及び商品広告(ポスター、チラシ類、テレビCM、新聞広告、雑誌広告、ダイレクトメール等)を含む
- ・ 大阪・関西万博への協賛や寄付など、関わりを想起させる表現を使用すること
例) 「大阪・関西万博を応援しています」、「大阪・関西万博のサポーターです」など。
- ・ 営利を目的とするか否かにかかわらず、販売・配布・貸与するグッズ(商品、粗品、ノベルティグッズ、景品等)への使用
- ・ リース・レンタル品、サービスマークとしての使用、その他商品に準ずるものへの使用
- ・ EXPO2025 デザインシステムの顧客吸引力及び信用力への不当な便乗となるような態様での使用
- ・ 大阪・関西万博及び当協会のイメージを害したり、社会的評価を下げる態様での使用
- ・ 大阪・関西万博や当協会が使用者や使用者の商品・サービスを推奨・保証しているように受け取られるおそれのある使用
- ・ 特定の政治的、宗教的又は思想的主張を表現したものに關する利用、それらに類する活動への使用
- ・ 法令や公序良俗に反するものに関連付けた使用
- ・ 第三者に対する誹謗中傷や差別等に関連付けた使用
- ・ 名誉棄損、詐欺など第三者の権利を侵害するものに関連付けた使用
- ・ 反社会的勢力及び反社会的勢力に関連付けた使用
- ・ 上記の他、当協会および2025MLOにて不適切であると判断した使用

1-9

共創デザインシステムの使用に際して

■ 共創デザインシステムの使用責任

- ・ 共創デザインシステムの使用は、使用者の責任のもとで行っていただきます。
- ・ 共創デザインシステムの使用が認められる場合であっても、当協会は使用者や使用者の商品・サービス等について推奨や保証等を行うものではありません。共創デザインシステムが使用された媒体やその内容、本ガイドラインに反する使用、その他個々の共創デザインシステムの使用について、当協会は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 共創デザインシステムの使用期限

- ・ 共創デザインシステムは、2028年3月31日※まで使用できます。
※当協会が同日までに解散したときはその日までとします。
- ・ その他、当協会もしくは2025MLOから指示があるときは、当該指示に従ってください。

■ 知的財産権

- ・ EXPO 2025 デザインシステムに関する一切の知的財産権は、当協会に帰属します。
- ・ 共創デザインシステムの不正使用または本ガイドラインに反する使用により、当協会の知的財産権が侵害された場合、差止請求や損害賠償請求等の法的措置を講じる場合があります。

■ 本ガイドラインの改定について

- ・ 本ガイドラインは、当協会が事前の予告なく改訂することがあります。
- ・ 当ガイドラインが改訂された場合は、改訂後のガイドラインに従っていただきます。

1-10

共創デザインシステムの使用についてご不明な点がある場合は、
2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィスへお問い合わせください。

2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィス

design-info@expo2025mlo.jp

発行

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会